

【 運 営 会 議 議 事 録 】

NPO法人 アンビシャス コーポレーション

- 1 開催日時 平成 25年 7月 7日 10時00分 から 12時00分 まで
- 2 開催場所 兵庫県姫路市庄田34番地10 3F
- 3 会員総数 16名
- 4 出席者数 8名
- 5 審議事項

第1号議案 経過報告と活動状況

第2号議案 通信の発行と協賛の増加について

第3号議案 収益事業について

第4号議案 意見交換と自己紹介等

6 議事の経過の概要及び議決の結果

① 定刻に至り、理事長山本哲司氏が開会を宣した。

② 議長の選任について諮ったところ、後藤氏を選任した。

続いて、議事録署名人について、竹森氏と久下氏の二名が選任され、いずれも異議なく承認された。

第1号議案 経過報告と活動状況

理事長より、今年初めに掲げた目標に対して、今期前半の経過報告と活動状況の旨を述べた。

①外堀川クリーン作戦～まちづくりコミュニティ清掃～について

大きく分けて3点の課題。1点目、通常の清掃ではなく、川の中なので、多くのポイ捨てや不法投棄を知りながらも、誰も手を出せないという現状であるということ。2点目、地域の人々から、多くの苦情があるということ。

3点目、モラルや意識改革の必要性。ポイ捨ては日常化しているということ。

現在、協働してくれてる行政は、中播磨県民局土木事務所管理課、美化部美化業務課、環境局環境対策室です。

市民参加につきましては、少しずつ増えてきており、ありがたく喜ばしいことだと思います。

活動の先駆性、独自性、特色について(サブタイトルまちづくりコミュニティ清掃の意図とは)

活動後、任意で参加者と昼食会を行い、情報交換や情報収集、現状の課題や今後の課題について、コミュニティを行っています。具体的な事としては、高齢の方々と、老後の不安や福祉について。現役の方々と、子どもの未来や今後の社会について。ボランティアや市民活動についてなどです。きっかけや入口、携わり方は色々ですが、市民の皆様と見聞を広め、心豊かなモラルあるコミュニティの役割も担っています。また、ただ単に清掃活動を行なっているだけではなく、中間支援、行政協働、地域サロンなど、さまざまな要素が含まれているという事と、市民や行政、男女や多世代の区別なく、次世代に向け、多様な可能性を生出しながら、モラルある健全なまちづくりの推進を担っています。この事業は、流行りや即効性のある活動でもなく、話題性のない活動かもしれませんが、今この地域に必要な活動であり、誰かが地道に活動し、継続していかなければと、強く思います。このような活動こそが、まちづくりの原点でもあり、NPO法人としての原点でもあると考えています。

②多世代間文化交流・青少年交流イベントについて

子どもからお年寄りまで世代を問わず、文化や自然を通じて、遊び・学び・考える、そんなイベントを開催していきます。
また若者のコミュニティ不足の改善、相互扶助の促進、次世代へ担う場を提供しています。

③講座や研修会の開催

税・経済・経営に関する勉強会や、救命・介護・福祉に関する講座などを提供していきます。

また市民の要望や声から、生活に携わる事項や、社会の課題に対し事項を提供していきます。

④コミュニティ広場(駆け込み地域サロン)

子育て・男女参画に関する事項や、高齢者・地域住民に対する相談や支援を行ない解決していきます。

また、多様な課題解決の為、情報の収集・発信を行い、個人や団体とのネットワークづくりを行っています。

地域に関する相談、2件。NPO設立相談、3件。こどもに関する相談、2件。生活・就職に関する相談、2件がありました。

記帳書式等を作成していない為、早急に書式を作成し、成果や記録を保存していくよう努めたいと思います。

今年に入り前半が過ぎましたが、少しずつ効果を得て充実してきたように思います。引き続きこの活動を基本とし、市民や社会に対して、より良いまちづくりの推進を行っていきます。

また、多くのNPO法人や市民団体の方々にお逢いする機会に恵まれ、コミュニケーションができました。

それにより、活動の協働や連携が充実してきました。今後も更に、深みや厚みのある活動を目指していきます。

第2号議案 通信の発行と協賛の増加について

7月末までに通信N0.2の発行に向け、原案の確認と校正を求めた。今後も、年に2〜3回程度の発行を行い、事業報告や活動計算書を発信し、開けた活動をアピールしていくことに、いずれも異議なく承認された。
協賛については、理事長が地域の企業等に訪問し、活動資料と共に思いの旨を述べ、地元有名飲食店の(株)八角様、郵便局様、HOTELフローラルイン様、サイゼリア様、他、数社様の賛同のご協力が頂けました。

第3号議案 収益事業について

我社の理念や方針をもとに、事業の向上や継続をしていく為にも、現実活動資金が必要となっています。
難しい議案だとは思いますが、今後、収益事業とする提案やアイデアを頂きたいと思います。

第4号議案 意見交換と自己紹介等

新しく会員が増えたので、簡単に自己紹介を行った。

自社オリジナルのクリアファイルやTシャツなど、商品グッズを制作してみてもどうか。

どんなグッズがよいのかを十分議論し、必要性・アピール性・普及性が明確であるなら、検討し進めたい。
会員の詳細なプロフィールを作成し、特技や持味をいかしたことを考えてみてはどうか。

費用もかからず早急にできる事なので、明確な内容を取決めて、作成に取りかかれば良いと思う。
収益事業や運営資金のことは、いいアイデアが思い浮かばず、活発な意見が出てこない。

現時点では、地道に今できる事や、いろんな場に参加しながら、積み重ねるしかないのかも。
どんな状態においても、初心を忘れず志を持って、いつまでも正統派の活動を続けたい。
どんな時も誰に対しても、活動の旨を自信をもって語れるように、各自心得て頂きたい。
経営方針等の意識の共有が大事だと思うので、再度見直し目を通して下さい。

ひめじおんまつりの運営委員の選考があるのですが、渡邊氏を推薦してみても、渡邊氏は承認した。
通信の発行を充実していくために、みんなで情報収取やコラムを書いて協力していくべきである。
大人数で移動できるマイクロバスが欲しい。地域サロンを十分に行える、建築物が欲しい。
それは必要ではあるが、まだまだ叶わぬ夢である。

議長は、以上をもって、NPO法人アンビシャス コーポレーションの運営会議の閉会を宣した。
以上の議事の要領および結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は
次に署名・押印または記名・押印する。

NPO法人アンビシャスコーポレーション

議 長 後藤 和明

議事録署名人 竹森 浩明

議事録署名人 久下 浩三